

第13回利賀ダム建設事業監理委員会資料

資料－1 利賀ダム建設事業の概要

資料－2 第12回委員会の審議結果

資料－3 事業の実施状況等に関する事項

資料－4 コスト縮減に関する事項

第12回委員会の審議結果

第12回利賀ダム建設事業監理委員会【審議結果】1/2

1. 日 時:令和6年7月3日(水) 14:00~15:50

2. 場 所:利賀ダム工事事務所 会議室

3. 審議結果:

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・事業を巡る社会情勢等について説明し了承された。

○第11回委員会の審議結果について

- ・第11回委員会の審議結果について報告

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・令和6年度の工事概要及び工事進捗状況について説明。
- ・北原・長崎地区水源地の水量減少について説明。また、応急対策で水道水復旧の目処がたったため、一部中止していたトンネル工事の再開を地元住民より了承を得られたため7月3日から工事再開することを説明。
- ・地盤変動域対策について見直しの結果、工程が変更となったことを説明。
- ・第2回基本計画変更以降、令和2年度より労務費が約1.19倍、資材費が約1.52倍となっているが、コスト縮減策を進めながら事業の推進を図っていくことを説明。

○コスト縮減等について

- ・これまで実施したコスト縮減策及び今後予定しているコスト縮減計画について説明。

●意見

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・1/1能登半島地震の影響から高岡市で断水が起こった。住民として断水の影響がいつまで続くのか分からない事が不安で問題が大きくなった事例。今回の北原・長崎地区の対応は事務所の対応が良かったから大きな問題にならなかったと思う。住民に情報が伝わる事が大切である。

第12回利賀ダム建設事業監理委員会【審議結果】2/2

- ・地盤変動域の排土工程の確実性とリスクマネジメントが重要と考える。資料からは工事の工法がわからないので、修正後の排土工程などの是非が判断しづらい。ここでは、事業の竣工予定ありきから、工程が作られているように思う。修正前の工程は、事業者とともにかなりの精度で検討してきた。修正後の工程はいろいろと確実性に乏しく、その是非が判断しづらい。せめて、受注JVの施工方法でも示してもらえれば、工程が適正であるか評価できそうだ。押場も同様である。

○コスト縮減等について

- ・今後の変更要因の抜けがないかよく見ておくこと。コスト増の要因となるものについてリスク管理の観点より事前に把握しておくことが重要。
- ・地盤変動域、押場と深礎工が多く施工予定されているが、マンパワーや資材不足が強く懸念される。また、安全管理の観点でハイドロ、ハイレトの関係などを考慮して、施工中止の降水量基準が設定されているのか。本体施工および押場、どちらもこの中止基準が工程に強く影響すると考えられる。速やかに基準値を決めることを勧める。
- ・地盤変動域は頭部排土による応力解放により崩落の発生リスクに強く留意する必要がある。本体工事は法面排土とダムサイト掘削との同時の上下部作業が出てくる。ここは安全確保が極めて重要となる。
- ・工期、工程を守るために、安全や環境保全をないがしろにすることがないように。リスク回避のためにコスト増、工程延伸となることについても事務所は腹を据えて対応すべき。コスト、工期にこだわったために事故が起きたといった事例もある。

○まとめ

- ・ダム本体及び押場地区の貯水池斜面对策の工程について妥当であることが確認された。非常に厳しい現場であることから、しっかりとした施工計画の検討をお願いしたい。
- ・長崎水源地の水量減少に関する内容について、工事中止における事業の遅れは無いとのことではあるが、今後の掘削において、その影響をモニタリングしながら地域住民の方が困ることの無いよう進めること。
- ・利賀ダム建設事業は適切に管理されていると考える。

審議結果の公開

[HOME](#) ▶ 取り組み：利賀ダム建設事業監理委員会

利賀ダム建設事業監理委員会

1. 委員会の目的

利賀ダムは、富山県 南砺市に位置し、庄川の右支川である利賀川に平成5年度より建設を進めている多目的ダムであり、「洪水の防衛」「既備用水の安定化と河川環境の保全」「工業用水の確保」を目的としています。

ダム建設事業は、調査計画段階から用地確保、生活再建、ダム本体施工を経て管理に至るまで、長い期間と多額の事業費を必要とするプロジェクトであり、全国的に、水需要の伸びの鈍化や国民の環境意識やコスト意識の高まり等の「社会情勢の変化」により、ダム事業に対して厳しい目が向けられています。

特に、事業費について、いわゆる物価増以上に大幅に増加する事象があること、国と地方の財政が厳しくなっていること等により、関係者等の関心が高まっています。一方、公共事業投資について引き続き厳しい状況が予想される中、事業者としてこれまでも増して一層のコスト削減、工期短縮に取り組んで行くことが求められています。

このような状況の中、利賀ダム建設事業全般にわたり事業費・工程等の管理をより充実して行うため、毎年、事業の進捗状況、コスト削減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、第三者の意見を求める機関として「利賀ダム建設事業監理委員会」を設置し、事業費・工程管理の一層の充実を図ることを目的としています。

これまでの審議結果を
事務所HPで公開
しています。

開催日	内容	審議結果
第1回 平成20年7月18日（金）	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 利賀ダム建設事業の進捗状況 (3) コスト削減について	審議結果
第2回 平成21年4月14日（火）	(1) 第1回委員会の議事録 (2) 事業の実捗状況に関する事項 (3) コスト削減に関する事項	審議結果
第3回 平成22年7月6日（火）	(1) 第2回委員会の議事録 (2) 事業の実捗状況に関する事項 (3) コスト削減に関する事項	審議結果
第4回 平成23年7月18日（火）	(1) 第3回委員会の議事録 (2) 事業の実捗状況に関する事項 (3) コスト削減に関する事項	審議結果
第5回 平成30年8月9日（水）	(1) 第4回委員会の議事録 (2) 事業の実捗状況に関する事項 (3) コスト削減に関する事項	審議結果 事業進捗の報告書
第6回 令和元年8月6日（火）	(1) 利賀ダム建設事業の概要 (2) 第5回委員会の議事録 (3) 事業の実捗状況に関する事項 (4) コスト削減に関する事項	審議結果
第7回 令和2年5月6日（金）	(1) 審議の進捗（資料-1） (2) 利賀ダム建設事業の概要（資料-2） (3) 第6回委員会の審議結果（資料-3） (4) 事業の実捗状況に関する事項（資料-4） (5) 利賀ダム建設事業基本計画について（資料-5） 議事録（資料-6）	審議結果
第8回 令和2年10月20日（火）	(1) 利賀ダム建設事業の概要（資料-1） (2) 第7回委員会の審議結果（資料-2） (3) 事業の実捗状況に関する事項（資料-3） (4) 資料添付：第32号（資料-4） (5) 利賀ダム建設事業監理委員会規約（資料資料）	審議結果
第9回 令和3年8月26日（水）	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要（資料-1） (3) 第8回委員会の審議結果（資料-2） (4) 事業の実捗状況に関する事項（資料-3） (5) コスト削減に関する事項（資料-4） (6) [資料資料] 委員会規約・議事録	審議結果
第10回 令和4年5月26日（水）	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要（資料-1） (3) 第9回委員会の審議結果（資料-2） (4) 事業の実捗状況に関する事項（資料-3） (5) コスト削減に関する事項（資料-4） (6) [資料資料] 委員会規約・議事録	審議結果
第11回 令和5年7月26日（水）	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要（資料-1） (3) 第10回委員会の審議結果（資料-2） (4) 事業の実捗状況に関する事項（資料-3） (5) コスト削減に関する事項（資料-4） (6) [資料資料] 委員会規約・議事録	審議結果
第12回 令和6年7月3日（水）	(1) 議事次第・出席者名簿 (2) 利賀ダム建設事業の概要（資料-1） (3) 第11回委員会の審議結果（資料-2） (4) 事業の実捗状況に関する事項（資料-3） (5) コスト削減に関する事項（資料-4） (6) [資料資料] 仕様・長期水源地の水量減少 (7) [資料資料2] 委員会規約・議事録	審議結果